

令和7年5月29日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
神谷 嘉栄 印

一般質問通告書

第545回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質 問 要 旨	答弁を求める者
1 「読谷村史 第五巻 資料編4 戦時記録 上巻」を主に参照してだが、沖縄戦時、当時の読谷山村出身の女子学徒隊においては、沖縄師範学校女子部と沖縄県立第一高等女学校の生徒たちによって編成された、看護隊の「ひめゆり学徒隊」が9名、県立第二高等女学校の「白梅学徒隊」が1名、県立首里高等女学校の「ずみせん学徒隊」1名、私立積徳高等女学校の「積徳学徒隊」で1名。全12名の方々が尊い命を失うこととなった。 その80年前の史実と現在、令和7年度 施政方針にもあった「戦後80年平和継承事業」も含め、さらに、この先の未来へ向け読谷村の姿がどうあるべきかについて、村長のお考えを伺う。	
2 字大添・ミサワ会地域の周辺崖地について (1) 前年度から続けられている土砂災害（崖崩れ）箇所の対策工事と樹木伐採について、今年度の工事等予定期間を伺う。 (2) 第542回議会定例会において、沖縄県中部土木事務所からの資料をもとに「土砂災害防止法施行令第三条の基準に該当する区域」、「土石等の（移動）高さが1m以下の場合、土石等の移動による力が100kN/m²を越える区域」についての質問後、用語や記号等、また、その箇所について、県中部土木事務所へ問い合わせてもらえたらどうか。	

質 問 要 旨	答弁を求める者
3 本村農業の懸念される現状について (1) 今年4月14日からウリ科などを対象にセグロウリミバエのまん延を防ぐために緊急防除が実施され、対象となる野菜や果物は、検査に合格しないと沖縄本島外に持ち出せないという。そのことで、生産農家から上がった「声」はないか。 (2) 第542回議会定例会にて、緊急防除のひとつとしての答弁で「テックス板の設置を行う予定」とあったが、行った場合において、実施結果の報告を求める。 (3) 新聞報道では、「不妊虫」を放つという防除も予定とあるが、その計画内容を伺う。 (4) 去る3月議会で、畜牛農家からの「牛の分娩（難産）対応へは不安がある」旨の質問をしたところ「獣医師の欠員補充の確保が困難な状況にあるため、令和7年度からは夜間の一部診療（午後8時～午前6時半）の休止を実施予定で、分娩対処についての講習会を開催しております」という趣意の答弁であったが、今年度に入ってから実際に、牛の分娩例もあったのだろうか。	
4 現在、休館中の村立図書館に関連して (1) 今年の3月1日から9月30日まで休館となっている村立図書館は、10月開館予定の「ゆんラボ・未来館」への移転準備の作業に追われている最中だと思われるが、その業務内容を伺う。 (2) 現在の職員体制と「ゆんラボ・未来館」開館後の新体制について伺う。 (3) 移転後の村立図書館施設の利活用方について伺う。	
5 「5歳児健診」について (1) 5歳児健診の内容説明を求める。 (2) 現在、自治体において乳幼児への義務となっている「健診」について伺う。 (3) 5歳児健診は全国的にも普及率は低いようで、沖縄県内でも導入自治体は久米島町のみのようなのだが、本村を含め他の市町村が導入していないことの状況説明を求める。	